

令和7年度 第3回川口市国民健康保険運営協議会会議録

- 1 開催日 令和7年11月27日（木）
2 会場 第一本庁舎8階 市議会第4委員会室
3 出席者
（1）委員 (会長)松本 進、(副会長)中山 栄次、(委員)内田 幸子、辻 康二郎、安藤 晴彦、川邊 正一、齋藤 卓、神山 浩、伊藤 公介、永田 直美、中田 淳夫、石井 庸子
（2）事務局 小澤保健部長、渡辺次長兼国保収納課長、澤田国民健康保険課長、二瓶補佐、利根川補佐、皆川補佐、後藤係長、吉田補佐、堀内補佐、栗原主任、菊谷主任
4 開会 午後1時30分
5 会議概要 以下のとおり
6 閉会 午後2時19分

会議概要			
	1 開会		
	2 議事		
事務局	本運営協議会の出席状況について、全委員15名のうち12名の出席により本協議会は成立し、傍聴人が2名である旨を告げ、進行を松本会長にお願いする。		
	(以降、議長が議事を進行)		
議長	本日の会議の議事録署名人として、中田委員並びに神山委員を指名する。 議事（1）令和8年度国民健康保険税率等の改定について、事務局より説明を求める。		
事務局	(資料1により説明)		
議長	事務局より説明があったが、何か意見、質問はあるか。 被保険者代表の方、発言をお願いしたい。		

委 員	税率改定については、前回会議からもやむを得ないと感じている。
議 長	他の委員はどうか。
委 員	税率の試算をするにあたって、事務局は様々なデータを使用して行っていると思う。被保険者数の減少や、所得はわからないが、収納率は1パーセント下がると見込んでいる。私は県内市町村の収納率のデータを見たが、川口市は以前と比べて徐々に向上してきており、ここのことろ健闘していると思う。これらの様々な要素を加味して事務局は3つのパターンを作成したと思うが、正直自分はよくわからない。事務局を考えている中で柱になるもの、また、3パターンの中でこの辺なら、もしくはこの辺を少し修正したらというものがいれば、率直な意見を聞きたい。
事 務 局	<p>試算するにあたって、被保険者数は年々微減している。平均所得額はそれ程下がっているわけではないが、被保険者数が減ってきていため総所得額は下がってきており、所得割額にその分の影響が出ることを認識した上で試算している。県は、国から示された係数を使用して標準保険税率を算定したが、本市の実際の所得額や様々な動向を見据え、3つのパターンを提示させていただいた。</p> <p>税率が一番低いパターン②では、黒字額が1億3千万円で、収納率がさらに1パーセントでも下がれば赤字となってしまう。また、来年度の税制改正で控除分が膨らむこともあり、所得割額の部分が少し下振れする可能性があることも含めた上で計算しているので、ぎりぎりのものである。それに対して、県から示された令和8年度標準保険税率であるパターン①は、長年税率改定を行ってこなかった本市の状況に鑑みると改定の幅が大きく、黒字額も過大であると考える。よって、パターン②は赤字解消にはぎりぎりのところであるが、提案させていただいた。</p>
議 長	収納率について私から1点確認させてもらいたい。資料2ページでは、収納率が年々向上している中で、税率改定を行った場合の収納率が9.2.0パーセントとなっている。令和6年度の収納率9.3.03パーセントに対してマイナス1パーセントほどとなっているが、その理由は何か。
事 務 局	本市は13年間税率改定をしておらず、賦課限度額の改定のみであった。収納部門を強化することにより収納率は向上してきたが、ここにきて大幅に税率を上げていかなければならないことを考えると、現行の収

	納率を維持するのは難しいと考え、約1%下振れしてしまうと計算した。
議長	他の委員はどうか。
委員	<p>資料6ページを見ると、赤字額の推移が記載されているが、令和4年度は1.6億円、それが年々増えて令和8年度は33.8億円となっており、税率改定し赤字を抑えないといけないと思うが、この赤字額が加速度的に増えているようだがその理由は何か。</p> <p>また、このような状況だと近々税率改定があるのか。赤字があれば改定しなくてはいけないと思うのだが、今後も続いて行われるよう感じ、非常に心配である。</p> <p>また、7ページでは、所得ゼロ世帯、43万円以下の世帯が、これほど多いことに驚いた。この方々はどういうふうに支払いしていくのか。</p>
事務局	<p>まず、法定外一般会計繰入金については、過去に20億、30億を繰入していたこともあった。コロナ禍においては、受診控えや国からの補助金などもあり、令和2年度、3年度、4年度は繰越金も含めて赤字額はゼロ、もしくは少なく、事業運営が成り立っていたため、税率改定を行わなかった。しかし、医療の高度化や高齢の被保険者が多いという国民健康保険の特性から、一人当たり医療費が伸びており、医療費の支払いは増えてきている。</p> <p>次に、所得ゼロ世帯、低所得者の方については、前年の収入が元となるので、会社を退職し加入している方は収入がゼロでも支払いはできると思われる。外国人であると留学生で海外から転入された方は、収入ゼロである。社会保険の適用拡大に入らない方など、所得の低い方が多くなっている。</p> <p>今後の保険税率の改定については、令和9年度以降は、基本的には県の標準保険税率に合わせるようになる。現状では、医療費の伸びに合わせて必要な保険税を徴収するため、税率は上がっていく可能性が高い状況であると考えている。</p>
議長	他の委員はどうか。
委員	税率改定を行うと、滞納者が増えてしまうことが心配である。努力をされて収納に結びつくようにしていると思うが、資料の最後にあるが、督促をまめに行うとかいろいろされていると思うが、対面で相談を行う

	ことや、その家庭に合わせた納入計画など考えているのか教えてほしい。
事務局	税率改定を行い値上げとなった場合に、収納率が厳しくなることを予測している。近年は収納率が上がり滞納者が少しづつ減ってきているが、今後は増加に転じてしまうことも想定していかなければならないと考えている。コロナ禍も落ち着いているので、今年度は臨戸催告の取組みを行っている。特殊詐欺があるので、臨戸徴収までは実施できていないが、外国人の滞納者であれば外国語のチラシを配布し、理解を得られるように対応を行い、収納率の維持、向上に向け取組んでいきたいと考えている。
議長	医師会、薬剤師会の方、発言をお願いしたい。
委員	収納率向上の努力をされていると思うが、収納率を上げることが大事であると考える。収納率が1パーセント変わると、収納額も相当な額が変わるとと思う。詳しいことがわからないので教えてほしいのだが、保険税の未払いのかたは、医療機関にかかった時にどうなるのか。
事務局	保険税が未払いになったからといって、すぐに保険証が使用できないということはない。滞納額がある一定程度以上となった場合は、10割を負担いただき、納付相談を行っている。
委員	その時には、きちんと徴収されていると思うが、そうでないと滞納額が増えていく。なかなか難しい問題ではあると思うが、そういうところを改善していかなければ、きちんと納税しているかたの負担が大きくなり、未納の方は何となく過ごしてしまってしまう。そのような状況にならないよう、いろいろな対策を行ってほしい。
議長	他の委員はどうか。
委員	医療に携わる立場では、皆さんの健康維持というかたちでうまく使っていってほしい。低所得のかたに対して相談にのるなど、いろいろな手厚さも市の方でやられていることを聞き及んでいる。温かく先を見据えてやっていただきたい。
議長	市への要望ですね。

	<p>他に質問はないようなので、本日の議題「令和8年度の保険税率等の見直しについて」、税率の引き上げについては、次回も継続して審議いただくようお願いしたい。</p> <p>続いて、17ページ、限度額超過世帯への影響について以降、事務局より説明を求める。</p>
事務局	(資料2、3により説明)
議長	<p>事務局より限度額超過世帯への影響について、収納率向上対策について説明があったが、何か質問はあるか。</p> <p>質問等ないので、事務局案を了承することでよろしいか。</p>
委員	(異議なし)
議長	<p>それでは、賦課限度額の引き上げについては、事務局の説明のとおり決定する。</p> <p>次に、その他について、事務局より説明を求める。</p>
事務局	(資料4により説明)、今後の会議開催予定について説明。
議長	<p>委員から何かあるか。</p> <p>(なし)</p>
	閉会